



関東地区高等学校PTA連合会大会

関東地区高等学校PTA連合会大会「茨城大会」が、7月8日（水）に開かれました。会員が一堂に会し、21世紀の知識基盤社会やグローバルな時代を生きる青少年を育成するため、各県におけるPTA活動についての情報交換を行いました。

本校からは教頭とPTA会長が参加しました。記念講演として、筑波大学大学院教授であり、筑波大学サイバニクス研究センター長である山海嘉之先生の講演を聞きました。人・機械・情報系を融合複合した新学術領域「サイバニクス」を創世し、それを駆使した人の身体機能の改善・補助・拡張を可能とする世界初のサイボーグ型ロボット「ロボットスーツHAL」を医療機器化し、革新技術による社会課題解決・新市場創出・未来開拓型人材育成を一体的に推進しているという最先端の話を知ることができました。

分科会は、「家庭教育とPTA」に参加し、群馬県立高崎北高等学校の「家庭教育への働きかけとしてのPTA委員会活動」と、栃木県立宇都宮東高等学校・附属中学校の「家庭教育の再考とPTA活動の課題」の、二つの発表を聞いてきました。どちらの発表も、PTAが一丸となって子供達を支えていくことの大切さと家庭教育のあり方について考えさせられる内容でした。

全国高等学校PTA連合会大会 岩手大会

全国高等学校PTA連合会大会「岩手大会」が、8月19日（水）から21日（金）までの3日間、盛岡市で開かれました。「未来圏からの風をつかめ！～新時代を担う君たちとともに～」というテーマのもと、全国から約9500名が参加して行われました。

本校からは校長とPTA会長・PTA副会長の4名が参加しました。基調講演として、芝浦工業大学教授、村上雅人先生、記念講演として、「龍馬伝」、「るろうに剣心」などを監督した、大友啓司氏の講演を聞くことができました。村上先生は、「夢高くして足地にあり The sky is the limit.」というテーマで、これからの教育のあり方や、知の探求の大切さ、経験を積み重ねること、良い教師との出会い、アクティブ・ラーニングによる学習方法の重要性など、先人の名言を効果的に活用しながらの講演で、思わず聞き入ってしまうほど素晴らしい内容でした。大友監督は、「アドリブを生きる力」というテーマで、監督がすべてコントロールして撮影しているのではなく、常に天候や時間などのコンディションとの戦いの中、ハプニングとどう付き合っていくのか。また、そんなアクシデントを楽しみ、それをどのように作品としての力にかえていくのか。豊富な現場エピソードの中から面白く、また、わかりやすく伝えてくださいました。

分科会は、「家庭教育とPTA」に参加し、4校の実践発表を聞きました。これらを参考にし、これから富里高校のPTA活動に生かしていければと思っています。

3日目は全体会場において、来年度千葉県が開催県になるため、千葉県のアピールをしてきました。来年度の千葉県のテーマは、『「再発見！愛」～今こそ信じよう愛の絆～』です。ご協力をお願いします。有意義な3日間を過ごすことができました。

